

第8号

2003.12.20

# れんめい

発行 日本歯科技工士連盟  
 東京都新宿区市谷左内町21-5

発行人 野島正美

編集 日本歯科技工士連盟  
 発行日 平成15年12月20日(土)

## ◎歯科技工士に係る政治懸案は歯科技工士

### 自らの責任で解決する姿勢を!!

中西茂昭日技連盟会長



## 医療技術者の適正評価による 安全で安定した医療提供を

会長 中西 茂昭

会員ならびに御家族の皆様、明けましておめでとうございます。

日本歯科技工士連盟はこの度、歯科技工士に係る政治懸案を始めとする諸懸案を歯科技工士自身が自らの責任と負担において国政に遡上するため不転の決意をいたしました。

歯科技工士の歴史は一言で申し上げれば、まさに忍耐と抵抗の歴史であったと言えましょう。過去に遡れば、第一次臨時行政調査会における歯科技工士資格・歯科技工法廃止答申の阻止、歯科技工助手問題での歯科医師会との和解、歯科技工士養成所入学資格の改正、歯科技工士免許国家資格への改正、業務法から資格法への改正など、組織が大団結し、懸命に努力し、解決・改正へと繋がった事柄は確実にございます。

しかし一方、その資格の成り立ちからか、私共が永年求め続けており、且つ、最も重要な課題といえる経済基盤の確立に関する要求は、私共が依然明確に法的整備を求めているにも関わらず、一部関係者は昭和六十三年に官報記載された厚生大臣告示により解決済みであるとの認識であり、未

だ真の解決に至っておりません。

厚生大臣告示の一つの指針と理解し、保険歯科医療の基盤をそこに求めてきた努力を事実として、なお経済基盤が確立されない要因の一つとして、私共歯科技工士自身に問題があることは否めない事実でございます。

私共はこの事実を歪めようとはいたしません。しかし、それにも増して多いのは皆様ご賢察の通り、優越的地位の濫用でございます。

これにより生み出された「入れ歯差益」とも呼ぶべきものは、国民に還元されるものであるならばまだしも、そうではないのです。行為の対価として支払われたいものが、その行為者に届かず、優越的地位にある者の利益となる。これはまさに社会悪・制度不備と呼ぶべきものであると私共は考えます。

また、このまま上限のある歯科診療報酬点数内での価格競争を放置することは、歯科技工士の就労環境を益々悪化させ、日本の歯科技工業界、ひいては日本の歯科医療の崩壊に繋がりがかねません。そして最後には国民一人ひとりの健康危

害に帰着する可能性が大きいのです。私は医療従事者として、決してこのような現状を看過することはできません。

私は、歯科技工士の社会的使命はその持てる職能と職責を余すことなく発揮し、歯科技工を通じ国民の口腔保健の維持増進を図り、以って身体的健康に寄与することだと考えております。同時に、歯科技工経済は歯科医療経済の範疇ではあっても独立したものであると考えております。言い換えれば、歯科技工相当分として国民が支払った対価は歯科技工の行為提供に正当に支払われなければならぬというものであり、その自明の理に對して他に理解を求めべき事柄ではないと考えております。

そのために、歯科技工料を歯科診療報酬点数表に点数として明示し、歯科技工報酬が安定して供給されるシステムの構築は急がれます。

さて、一言で「歯科技工料を歯科診療報酬点数表に点数として明示し、歯科技工報酬が安定して供給されるシステムの構築」と申しますが、私はそれを成就させるためには周辺環境の整

備も重要であると考えております。具体的には、養成制度の高度化に繋がる歯科技工士養成所指定規則の改正、歯科補綴物等の安全性や質の確保を含めた歯科技工所構造設備の法的確立、歯科医院（診療所）委託業務としての歯科技工行為明示のための医療法・医療法施行令の改正などがござい

ます。これらの環境整備は、歯科技工士としての資質と職能、職責の向上に繋がります。ひいては歯科医療全体の向上がもたらされ、国民の身体的健康の増進に寄与する

と考えられます。また私は、これらの周辺環境が整わなければ、歯科技工経済基盤の確立も困難であると考えております。

会員ならびに御家族皆様のお力をお借りし、御多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

一部には、今回の行為が大変ご心配される方々もございませぬ。しかし、そのご心労は杞憂であると考えております。全ては歯科医療全体の向上のため、歯科界の信頼をより一層得るため、そして国民の口腔保健維持増進に資する歯科技工士関連施策実現のため歯科技工士が自らの手で国に遡上したいという願いの表れでございます。

## ◎新年に寄せて

（社）日本衛生検査所協会 会長 山本 義教



平成十六年の新春を寿ぎ、皆様にご心よりお慶びを申し上げます。

今年のご挨拶は、申。申年の人は、明朗快活、軽妙にして機敏であり、前向きで楽天的な性格であると言われます。また、人の面倒を見るのが好きで、環境に合わせた生活を送ることが出来る人が多いそうです。申年の人に肖って、世間を覆う暗雲を明るく笑い飛ば

して行きたいものです。雇用なき景気回復が進む中、今年、国民の関心事の一つに年金制度の改革が挙げられております。しかし、医療に関係する者としては、どうしても年金制度より医療保険制度改革の動向や今年春予定されている診療報酬改定の中身の方が気になるのではないのでしょうか。診療報酬を本来在るべき姿に戻すには、医療に関連する事業者も国民医療に貢献するとの原点に立ち返り、主張すべきは強く主張すると

の勇気を奮い起こさなければなりません。勇気あるところ、夢は輝くものです。私は、昨年十一月の臨床検査普及月間の実施に当た

り、全会員に「検査に夢を」と呼びかけました。が、できないからです。検査所業界においても、経営環境は大変厳しい状況にありますが、夢は厳しい環境にあるがゆえに持っているものとして参ろうではありませんか。

新年あけましておめでとうございます。二〇〇四年が社団法人日本歯科技工士会にとって良き年になりますようご祈念申し上げます。

貴会は、コ・メディカル

## 謹賀新年

## 日本歯科技工士連盟

## ◎年頭の御挨拶

（社）日本臨床衛生検査技師会 会長 岩田 進



新年あけましておめでとうございます。二〇〇四年が社団法人日本歯科技工士会にとって良き年になりますようご祈念申し上げます。

（二面に続く）





〔二面より続く〕  
 職種の中では歴史もあり組織としてのまとまりも良し、これまで多くの点で当会に對して御指導をいただき、厚く御礼申し上げます。

近年、医療環境は医療費抑制政策の影響から厳しさを増しており、臨床検査領域では、これに民間の検査センターの攻勢も加わり病院で働く多くの技師に危機感が広がっております。

医師中心の日本の医療体制では、負の影響はますます。コ・メディカル部門に及び、結果として医療の質や安全を犠牲にしながらの効率化に進む構図があります。こうした傾向を断ち切る

### 年頭のご挨拶

社日本鍼灸師会 会長 相馬 悦孝



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日本歯科技工士の皆様におかれましては、平成十六年の新春をさわやかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

はじめて皆様にご挨拶の機会を与えていただき、私達、社団法人日本鍼灸師会は昭和二十五年、鍼灸師が集い鍼灸治療中心に行う鍼灸専門団体として発

足しました。私達の身分は「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律」により定められています。慰安と医療とが混在する法律。私達は鍼灸治療を鍼灸

御健勝を祈念いたします。結びに、日本歯科技工士の益々の御発展と皆様の

### 新年のご挨拶

社日本あん摩マッサージ指圧師会 会長 時任 基清



平成十六年の新年を迎えるにあたり、心からのお祝いを申し上げます。

昨今は医療費削減の掛け声により、診療報酬点数表の価格低下等、医療を取り巻く情勢には非常に厳しいものがあります。全体的に

民間が、医師、歯科医師の世話になっておりますが、歯科医師の腕の良否は縁の下力持ち的な歯科技工士の皆様の技術に負うところが大きいと心得ております。

私も、あん摩マッサージ指圧師周囲の状況も、数年に亘り、悪化の一途を

### 新年のごあいさつ

社日本理学療法士協会 会長 中屋 久長



新年あけましておめでとうございます。皆様にはよい御年をお迎えされましたことお慶び申し上げます。

お蔭様で私達理学療法士協会の会員は三万三千名を超え、医療機関に全体の七十六パーセント、介護老人保健施設等の中間施設に

性は少しずつ認識されてきました。急性期・回復期の医療、福祉・保健、教育分野における理学療法法の推進、特に介護保険制度における介護予防と要支援・要介護者のリハビリテーション、福祉用具や住宅改修には、私達理学療法士の専門性を活か

### 新年を迎えて

社日本義肢協会 会長 田澤 泰弘



二〇〇四年あけましておめでとうございます。景気の低迷、失業者の増

大等私たちが取り巻く環境は厳しい状況が続いており、「今年こそ明るい年になって欲しい」と願っています。

日本義肢協会は一九六七年に厚生省より社団法人として認可され、一九八七年には義肢器具法が制定され今日に至っております。

に「健康日本21」等に参画し、健康維持・増進、生活習慣病の予防・コントロール等のヘルスプロモーション分野での活動も推進していきたいと考えております。どうか今後とも御指導をよろしくお願いいたします。

### 新年にあたって

社日本臨床工芸士会 会長 川崎 忠行



謹んで新年のご挨拶申し上げます。

社団法人日本歯科技工士の皆さまには佳き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返り、専門職が抱える諸問題の解決に向けて、更に連携を密接にし協力して行きたいと考えています。

また医療分野においても規制改革が更に大きな流れとなってきました。国立病院等の独立行政

### 年頭のご挨拶

社日本作業療法士協会 会長 杉原 素子



新年明けましておめでとうございます。日本歯科技工士の皆様には御家族そ

ことと思っております。昨年は日本国内外において心を揺さぶるようなさまざま

### 年頭のご挨拶

社日本作業療法士協会 会長 杉原 素子

さまざまな出来事がおこりました。近年は世界の出来事がテレビ・新聞などマスメディアを通して驚くべき速さと量で私たちの目や耳に届きます。与えられた情報の

解は私たちが自身に委ねられ、新しい年を迎えられ、社団法人日本歯科技工士会は中西会長「歯科技工士自身が議員として国政に

決意に心から拍手を送り、





# 上程四議案すべて可決承認

## 第二十回参議院議員通常選挙に向け

### 本部・支部合同選対会議も開催!!

#### ——平成十五年度第一回連盟評議員会——

日本歯科技工士連盟(会長 中西茂昭)は、去る九月二十一日(日)に日本歯科技工士会館(東京・市谷)において連盟活動報告・収支決算などを審議する平成十五年度第一回連盟評議員会を開催した。当日は、平成十四年度活動報告、同収支決算、日本歯科技工士連盟創立半世紀に及ぶ大計を成就させるべく、熱心な協議、質疑連盟規約改正、第二十回参議院議員通常選挙に伴う特別会計設置の

件の四議案が上程され、慎重審議の結果、全ての議案が可決承認された。また、評議員会の終了時刻を繰り上げ、第二十回参議院議員通常選挙日技連盟本部・支部合同選対会議も開催し、歯科技工士連盟創立半世紀に及ぶ大計を成就させるべく、熱心な協議、質疑連盟規約改正、第二十回参議院議員通常選挙に伴う特別会計設置の



▲滞りなく審議を終える

平成十五年度第一回連盟評議員会は、九月二十一日(日)、午前十時より東京・市ヶ谷の日本歯科技工士会館において議長に高橋義夫評議員(北海道)、副議長に藤原俊彰評議員(大阪)を選出し定刻どおり開会された。

まず、藤原副議長により氏名点呼が行われ、評議員五十五名中五十三名の出席を確認(二名は後刻到着・欠席無し)、議長は本評議員会の開会を議場に告げた。

次いで議長は議事録署名名人の選出を議場に諮った結果、議長一任となり、三浦智評議員(福島)、木下英志評議員(岡山)が議長より指名され、両評議員はこれを受諾。議長による受諾確認後会長挨拶に移った(内容別掲)。

その後、古橋理事長より次期参議院議員通常選挙に関して、中西しげあき躍進の会関係の協議・報告や留意点の説明、また、質疑を受け付けるため、評議員会の日程を繰り上げ審議を終え、「第二十回参議院議員通常選挙第一回本部・支部合同選対会議」を開催する旨の説明と協力要請が行なわれた。

引き続き議長は議案の審議に入る旨議長が宣し、第一号

議案・平成十四年度活動一般報告、第二号議案・平成十四年度会計収支決算の承認を求め、各都道府県から資料を基に報告が行われた。平成十四年度は、中西執行部の初年度にあたり、歯科技工料に関する基本的な考え方を執行部として再確認し、会員の負担に配慮するために今何をすべきかを各々が認識することからスタートした。その基本的概念に立脚し、平成十四年度活動方針に沿ったかたちで連盟活動が進められた旨の報告があった。

第二号議案は国府田副理事長より連盟会計収支決算書に基づき詳細な報告が行われた。会員減による厳しい予算立てとなったものの、各役員による効率的であるが有効的な会務執行がなされた結果、次年度繰越金を計上できた旨の報告と謝意が述べられた。

続いて議長は財務委員会報告を財務委員長に求めた。秋山佳弘財務委員長(徳島)からは、時間の制約もあり、財務委員会報告は事前掲載させていただいているので割愛する。評議員各位にはそれぞれの組織

注目の自民党総裁選挙が昨日行われ、小泉総裁が再選され、衆議院の解散がわかに現実味を帯びてきたような状況でございませぬ。

連盟といたしましては、総選挙に向けて抜かりのない体制を固めていかなければなりません。時間があまりございませんが、それぞれの選挙区での推薦作業、重点地区の設定等を日技連盟主導で行ってまいりたいと思っておりますので、各都道府県技連盟におきましても、ご対応のほど宜しくお願いいたします。

そのような中で、私共が求めております昭和六十三年の厚生大臣告示の改正、すなわち、「おおむね」を取っていただく、

お願いを関係各方面にしております。引き続きこの告示の修正、再告示を関係議員の皆さんに強く求めてまいりますと存じます。

また、昨日も申し上げましたが、医療法十五条の二に委託業務として歯科技工を明示していただく。そのことにより、より安定した良質な歯科医療の確保に資する歯科技工士の役割が十二分に発揮できると確信をしている次第でございます。

なお、本日は参議院議員選挙についてのご質問も多いかと存じます。この選挙は、ご周知のように歯科界の中でどちらかが落ちるといふ類の選挙ではございません。そういう意味では、歯科医師連盟の推薦候補にも大いに健闘いただき、

頑張っていたらと本心に思っています。この次でございませぬ。当然、われわれも一致結束して臨んでいただきたという思いでございます。

今回のわれわれ歯科技工士の行動について、とかくいろいろなお話をさされる方がおられるようでございますが、医療界に目を移せば、かつて看護師も薬剤師も同じような道を歩んできたのだらうと思えます。そしてその決断のときに市民権を勝ち得て、今日があるというふうに思いを馳せていただきたいと存じます。

私共もそういった意味合いで、まさに社会性を発揮できる絶好のチャンスと捉えており、各方面にも働きかけを行っております。今日一日のご議論が有意義なものとなることをお願い申し上げます。評議員会のご挨拶とさせていただきます。

参議院議員選挙は、候補者の名前を書く選挙であるということを各県技連盟で会員一人ひとりに周知徹底させていただき、誤りのない形にさせていただきます。

いずれにいたしましても、この連盟は今、非常に世間の耳目を集めております。

私共もそういった意味合いで、まさに社会性を発揮できる絶好のチャンスと捉えており、各方面にも働きかけを行っております。今日一日のご議論が有意義なものとなることをお願い申し上げます。評議員会のご挨拶とさせていただきます。

# 中西会長挨拶

平成14年度連盟会計収支決算書  
(自：平成14年4月1日 至：平成15年3月31日)

収入の部					
政治資金収支報告書による収入科目	科目	平成14年度予算額	平成14年度決算額	差	備 考
01 個人の負担する定費又は会費	会 費	68,640,000	65,606,000	3,034,000	過年度会費 5,058,400 当年度会費 57,547,600 (@400×143,869名月)
02 寄 付					
(1) 個人からの寄付					
(2) 法人その他の団体からの寄付					
(3) 政治団体からの寄付					
(4) 機関紙誌の発行その他の事業による収入					
03 借入金					
04 その他の収入	雑 収入	50,000	183,201	△ 133,201	預金利息等
05 前年度繰越金		28,000,000	27,066,523	933,477	
収入合計		96,690,000	92,855,724	3,834,276	

  

支出の部					
政治資金収支報告書による支出科目	科目	平成14年度予算額	平成14年度決算額	差	備 考
1. 経常経費					
(1) 人件費	給 料	100,000	0	100,000	アルバイト料
(2) 光熱水費					
(3) 備品・消耗品費	事務用品費	200,000	15,200	183,200	文具費等
(4) 事務所費	通 信 費	11,500,000	8,083,150	3,416,849	役員通信費、郵送料他
	賃 料 費	1,500,000	1,335,600	164,400	
a. 小 計		13,200,000	9,435,149	3,764,850	
2. 政治活動費					
(1) 組織活動費	交 通 費	1,500,000	630,270	869,730	都内出張費、交通費
	役員出張費	3,900,000	3,269,250	630,750	地方出張費
	印刷費	1,500,000	1,164,858	335,042	文庫封筒等印刷費
	会議費	9,500,000	5,076,270	4,423,730	評議員会、幹事会等
	交際費	3,000,000	906,577	2,093,423	中元、歳暮等
	渉外費	6,500,000	1,209,242	5,290,758	
b. 小 計		25,900,000	16,256,567	9,643,433	
(2) 選挙関係費	交 通 費	100,000	320	99,680	
	役員出張費	300,000	89,830	210,170	
	印刷費	200,000	177,150	22,850	
	会議費	100,000	0	100,000	
	通信費	100,000	0	100,000	
	雑中見舞	200,000	0	200,000	
c. 小 計		1,000,000	267,300	732,700	
(3) 機関紙誌の発行その他の事業費	広 報 費	5,500,000	1,375,675	4,124,325	「日技ニュース」他
(4) 調査研究費	調 査 費	1,000,000	358,223	641,777	資料・書籍購入費他
(5) 寄付・交付金	寄 付 金	24,000,000	5,690,000	14,310,000	会費等
	交付金	3,000,000	1,182,805	1,817,195	地元活動費等
(6) その他の経費	時局対策積立金	10,000,000	20,000,000	△ 10,000,000	
	雑 費	300,000	234,480	65,520	
	予備費	12,000,000	0	12,000,000	
d. 小 計		56,490,000	32,821,183	23,668,817	
e. 小 計			34,075,534	△ 34,075,534	
支出合計	a+b+c+d+e	96,690,000	92,855,724	3,834,276	



# 中西しげあき君を励ます会 各地で開催される!!

【三面より続く】  
の立場をご理解いただき、本審議においても積極的かつ慎重にご協議いただきたいとの報告と要望があった。

その後加藤監事より連盟会計は正確かつ適正に処理されており、会務は適正妥当に執行されている旨の監査報告が行われた。

議長はここで質疑応答に入ることを宣したが、評議員からの質疑応答は無く、第一号議案・平成十四年度活動一般報告、第二号議案・平成十四年度会計収支

決算の承認を求める件は採決の結果賛成多数により可決承認された。

次いで議長は、第三号議案・日本歯科技工士連盟規約改正の件の上程を執行部に求めた。三国副会長から日本歯科技工士会と日本歯科技工士連盟の峻別化を明確に図るための規約の改正である旨の上程趣旨が説明された。議長は質問を議場に求めたが、評議員からの質疑は無く、直ちに採決に入り、第三号議案・日本歯科技工士連盟規約改正の件は賛成多数により可決承認

された。その後、第四号議案・第二十回参議院議員通常選挙特別会計設置の件が古橋理事長より上程され、日本歯科技工士連盟は、次期参議院議員選挙において自由民主党から会長・中西茂昭を比例代表選出議員候補者と

して擁立することを決定して、公認もいただいた。今後の政治活動を行うにあたっては、積み立ててまいった擁立支援金を原資として特別会計を設置し活動していきたい旨の趣旨説明が行なわれた。

評議員からは、歯科技工士の職業が一般の人たちに見えるような運動の展開と象徴的なスローガンの制定を要請、推薦団体の各県技連盟への周知要請等があり、古橋理事長から、可能な限り指摘のあった方向で検討させていただく旨の回答が行われた。

議長は他に質疑の無いことを議場に確認し、採決に入った。その結果、賛成多数で第四号議案も可決承認され、平成十五年第一回連盟評議員会は終了予定時刻に無事終了した。

歯科技工界の代表である中西しげあき氏の国政挑戦を受け、各地で励ます会が開催されている。いずれの地でも中西氏の勇気と決断を支持する多くの会員が集結し、大盛況に終了している。ここでは、その先鞭を切った北海道歯科技工士連盟の初期段階の活動を掲載する。今後各支部での盛り上がり大いに期待するものである。



高知会場にて

平成十五年八月九日 十五回学術大会が行われ、(土)、北海道札幌市において、日本歯科技工学会第二

ル園で開催された。当日は、あいにくの空模様であったが、北海道ならではの歓迎レセプションということ



▲広島会場は立錐の余地なし

その懇親会がサッポロビール園で開催された。当日は、特筆すべきことは、来賓として出席した前文部大臣の町村信孝衆議院議員(当時自民党総務局長)が、来夏の参議院選の自由民主党第一次公認決定直後ということもあって、日技連盟中西茂昭会長を激励する挨拶を行い、会場はこれに呼応するよう「中西コール」につつまれたことであった。



▲和歌山会場では来賓も多数出席

その後、市内において「北海道歯科技工士連盟と伊達忠一参議院議員との懇談会」が開催された。出席者は、伊達参議院議員の他、伊達忠一北海道議員、そして北海道歯科技工士連盟から東会長他三名、中西茂昭日技連盟会長はじめ三

名の日技連盟役員そして「中西しげあき躍進の会」の齊木会長も同席した。懇談は終始和やかに行われたが、伊達参議院議員から公認に至るまでの経緯と今後の取り組みについての話に及ぶと、さすがに緊迫した空気が漂った。

最後に中西会長より不退転の決意表明があり、伊達参議院議員からも同じ医療技術者として積極的に支援する旨の心強い激励があった。翌八月十日(日)には、中西しげあき躍進の会主催、北海道歯科技工士連盟協力による「中西しげあき君を励ます会」が開催された。当日は、日本歯科技工学会第二十五回学術大会最終日ということもあり、開催時間の午後三時四十五分には学術大会に出席した全国の会員約百五十名が参加した。

励ます会は、後援会を代表して齊木会長の挨拶があり、引き続き「第二十回参議院議員通常選挙自由民主党公認比例代表選出議員名簿登載予定者」として中西会長から「日本歯科技工士連盟がこの五十年間求めてきたものを、他を介さず自らの力で切り開くチャンスが手の届くところまで来た。歯科技工士として医療技術者の一員として国家国民のために全力を尽くしたい。皆さんの主張を政治の場に届けるために不退転の決意で臨むので、御支援を願う」という熱い思いが伝えられた。

この思いを受けて会場は万雷の拍手に包まれ、熱気に満ち溢れた。最後に、北海道歯科技工士連盟の東会長が花束を贈呈して必勝のメールを送り、励ます会は終了した。

季節は変わり秋とは名ばかりの九月二十七日(土)、「歯科技工ガイダンス」出席のために来道していた中西会長が、ガイダンス終了後、併設して開催された全道組織担当者会議の出席者と道技役員総勢四十名に向

けて支援要請を行った。会議に入る前の短い時間であったが、全道十五支部の組織拡充対策の実務者が中西会長の思いに直接触れたことは有意義であり、北海道という広範囲な組織にとっては貴重な機会であった。

同日夕刻から、北海道の医療技術者団体有志による勉強会「伊達忠一参議院議員国政報告会」が開催された。当日は伊達参議院議員を講師とし、伊達忠一北海道議員として日本歯科技工士連盟の中西会長他各団体から十九名の参加を得

た。自身が臨床検査技師である伊達議員は、国政における医療施策への取り組みシステムの現状を説き、事態の打開のため医療技術者自身が声を挙げ連携する必要性を訴えたうえで、来夏の「中西しげあき参議院議員選挙挑戦」への協力を求めた。

懇談では、各団体の抱える諸問題が各々紹介された。諸懸案は、それぞれの職種におけるさまざまな法令に及ぶものである。しかし、協議を通じ参加者には術者の理解の基盤が確認されたことは大きい。



▲北海道が先鞭をつける。